Ⅰ．伊予銀行の概況

～ 伊予銀行 本店 ～

伊予銀行のプロフィール

伊予銀行

本店所在地	愛媛県松山市
創業	明治11年3月15日（第二十九国立銀行）
創立	昭和16年9月1日
資本金	209億円（発行済株式総数 323，775千株）
従業員数	役員　22人、職員　2，377人（臨時を除く）
拠点数	国内　149か店（出張所7を含む）、海外1か店（香港） 駐在員事務所2か所（ニューヨーク、上海）
外部格付	AA-（安定的）　：　格付投資情報センター（R＆I） A-（ポジティブ）：　スタンダードプアーズ（S＆P）

連結自己資本比率（国際統一基準）	11．64％
連結子会社数	13社
連結従業員数　職員　（臨時を除く）	2，776人

（※平成20年3月末現在）

～　創業の地 川之石支店　～

伊予銀行は
平成20年3月15日に
創業130周年を迎えました

愛媛県の主要産業

伊予銀行

- 平成１８年の**製造品出荷額等は３．７兆円で四国の４４％を占める**
- 愛媛県は多様な産業構造を形成

松山地区には小型ボイラ・
削り節のトップ企業が立地
・削り節 生産量 **全国1位**

今治地区は世界有数の海事都市
・日本船主の保有外航商船隻数 **全国2位**
・国内新造船竣工量 **全国2位**

新居浜地区は
住友グループの
企業城下町として
非鉄金属・化学・鉄工・
電機産業が集積

宇和島地区ではマダイ・ブリ・
ヒラメ等の海面養殖業が盛ん
・海面養殖業生産額
全国1位

四国中央地区には
製紙・紙加工業が集積
・紙・パルプ産業 生産額
全国2位

伊予銀行の営業基盤（店舗ネットワーク）

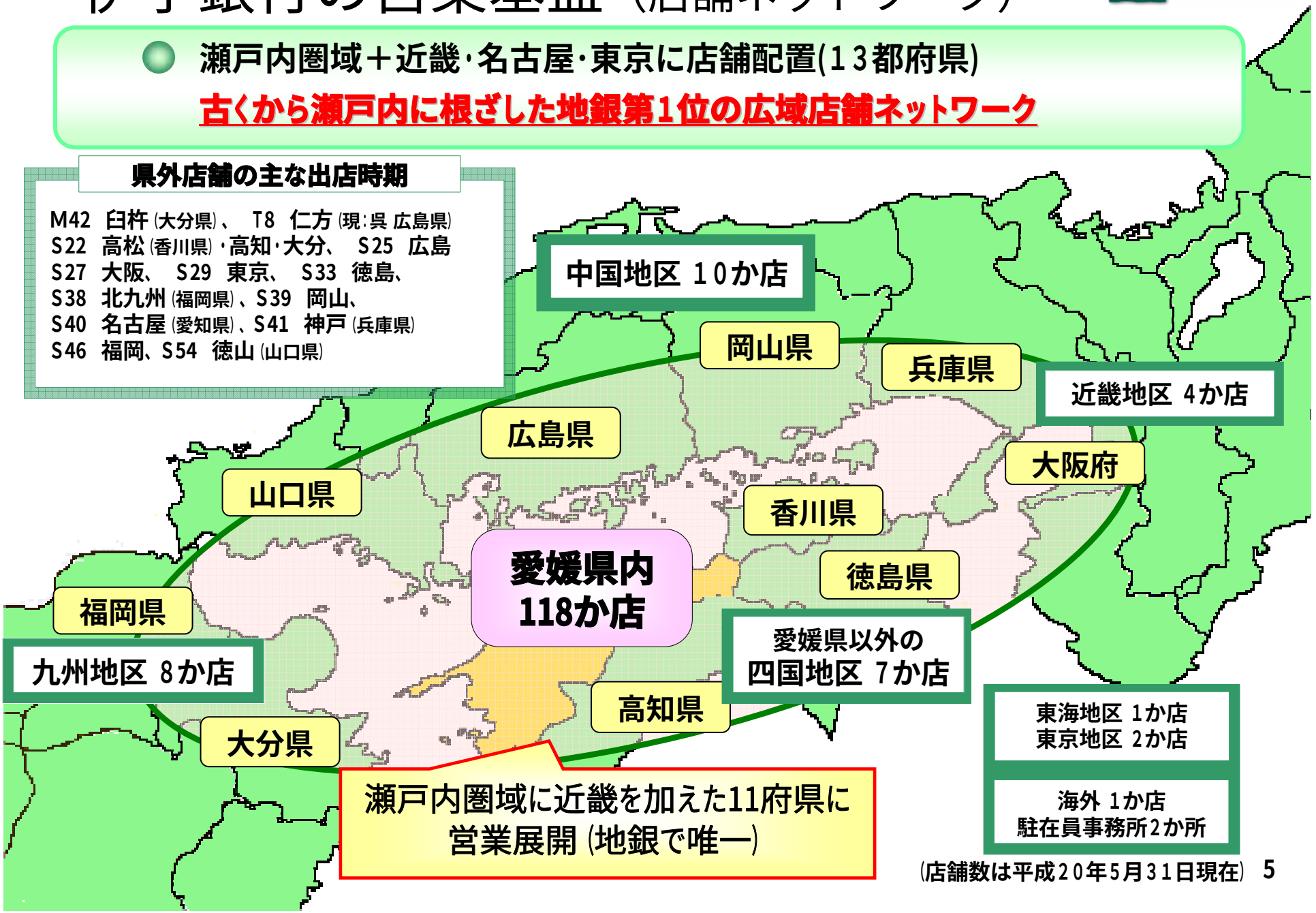
伊予銀行

- 瀬戸内圏域＋近畿･名古屋･東京に店舗配置(１３都府県)

古くから瀬戸内に根ざした地銀第１位の広域店舗ネットワーク

県外店舗の主な出店時期

M42　臼杵（大分県）、　T8　仁方（現：呉 広島県）
S22　高松（香川県）･高知･大分、　S25　広島
S27　大阪、　S29　東京、　S33　徳島、
S38　北九州（福岡県）、S39　岡山、
S40　名古屋（愛知県）、S41　神戸（兵庫県）
S46　福岡、S54　徳山（山口県）



瀬戸内圏域に近畿を加えた11府県に
営業展開（地銀で唯一）

（店舗数は平成２０年５月３１日現在）